

## 7. K社における脱脂剤コスト、排液コストの削減事例

### 1. 事業内容

当社はH社、Y社、の協力工場として金属塗装を行っている。

### 2. 省エネ対策として選んだ理由

金属塗装として優良品質確保については、第一に表面処理が最優先の重要ポイントであり、品質確保並びに省エネ・省資源の目的に依り、油水分離機の変更を実施した。

### 3. 展開内容

脱脂槽の油分除去方法として現在の油水分離機よりスーパークリーンALS3型油水分離機の導入により、脱脂剤の効力が長時間保持（ランニングコストの低減）された為導入を決定した。

### 4. 効果

従来は1ヵ月に二度の脱脂液の更新をしていたが、油水分離装置を導入してからは、月に二回の更新がなくなり人件費、及び処理薬品の節減ができた。更に不良品の減少、廃水処理費の低減等、原価の低下と経費節減に効果を挙げた。

具体的に計算してみると

① 購入金額及び工事費	1,250,000円
② 人件費	1,620円×4h = 6,480円
③ 廃液処理費	20円×4,000ℓ = 80,000円
④ 更新液の薬品代	80kg×398円 = 31,840円
⑤ 旧設備時の薬品代	230kg / 月×398円 = 91,540円
⑥ 新設備時の薬品代	150kg / 月×398円 = 59,700円
⑦ 廃油	2ℓ / 日×24日×20円 = 960円
⑧ 電気代	0.5kW×8h×24日×21円 = 2,016円
⑨ N-ヘキサン分析	3,000円×2 + 1,000円 = 7,000円
⑩ エレメント	= 3,500円

設備前 ②+③+④+⑤ = 203,380円

設備後 ⑥+⑦+⑧+⑨+⑩ = 73,176円

203,380 - 73,176 = 130,204円

月々の節減金額は130,204円となる。

(年間の節減金額は1,562,448円)